

第30週の発生動向(2006/7/24~2006/7/30)

1. 水痘については、むつ保健所管内で第29週から**注意報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、**警報**が青森(第28週)、弘前(第26週)、五所川原(第29週)、むつ保健所管内(第28週)で継続し、上十三保健所管内で**新た**に出されました。
3. 流行性耳下腺炎については、**警報**が上十三保健所管内(第24週)で継続し、むつ保健所管内で**新た**に出されました。
4. インフルエンザについては、**上十三**および**むつ**保健所管内において、患者報告数がやや多い状態が続いており、引き続き注意が必要です。迅速診断キットにより、弘前保健所管内ではB型:3件、むつ保健所管内ではB型:26件が報告されています。

第30週五類感染症定点把握

保健所名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数					
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
(72) インフルエンザ			3	0.20	11	0.79			24	2.67	26	4.33	64	0.98	-40	青森 弘前 八戸 五所川原 上十三 むつ 合計	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
(60) 咽頭結膜熱	10	1.11			3	0.33			1	0.25	14	0.33	14	0.33	-13						
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.67	7	0.78	4	0.44			9	1.50	4	1.00	30	0.71	10						
(62) 感染性胃腸炎	12	1.33	13	1.44	6	0.67	3	0.60	5	0.83	17	4.25	56	1.33	2						
(63) 水痘	8	0.89	9	1.00	7	0.78	2	0.40	20	3.33	20	5.00	66	1.57	-11						
(64) 手足口病	5	0.56	1	0.11	2	0.22	2	0.40	1	0.17	1	0.25	12	0.29	6						
(65) 伝染性紅斑	10	1.11	1	0.11	6	0.67	4	0.80	5	0.83	3	0.75	29	0.69	14						
(66) 突発性発疹	1	0.11	6	0.67	4	0.44					4	1.00	15	0.36	-9						
(67) 百日咳															0						
(68) 風しん															0						
(69) ヘルパンギーナ	66	7.33	57	6.33	13	1.44	31	6.20	48	8.00	53	13.25	268	6.38	35						
(70) 麻しん(成人を除く)															0						
(71) 流行性耳下腺炎	8	0.89	21	2.33	7	0.78	6	1.20	36	6.00	31	7.75	109	2.60	29						
(73) 急性出血性結膜炎															0						
(74) 流行性角結膜炎	4	2.00			1	0.50	2	2.00	3	1.50			10	0.91	1						
(59) RSウイルス感染症									1	0.17			1	0.09	0						
(82) マイコプラズマ肺炎											12	12.00	12	2.00	7						

 は警報

 は注意報

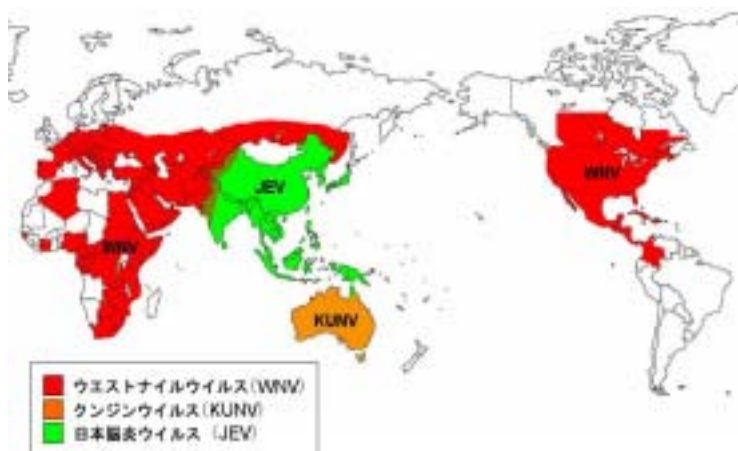
「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 上十三保健所管内:1人 むつ保健所管内:3人(18年計 21人)
- (45) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患) 青森保健所管内:1人 (18年計 1人)
- (51) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内:1人 (18年計 3人)

感染症の惑

ウエストナイル熱



国立感染症研究所ホームページより

ウエストナイル熱は、発熱、頭痛などを主な症状とするウイルス性疾患で、ウエストナイルウイルスを保有した蚊に刺されることで感染します。

潜伏期間は3~15日で、感染者の約80%は無症状に終わりますが、感染者の約1%が重篤な症状(激しい頭痛、高熱、頸部硬直、弛緩性麻痺、髄膜炎、脳症)を示すとされています。なお、ヒトからヒトへは感染しません。

現在、ウエストナイル熱は、アフリカ、ヨーロッパ、西アジア、アメリカ等に広く分布しており(地図の赤色部分)、特にカナダ、アメリカ、メキシコ及びカリブ海地域で流行しています。

ワクチンがないので、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防方法です。流行地域に出かけた際は、長袖長ズボンを着用し、虫除け剤の使用等で蚊に刺されないよう注意が必要です。

なお、県では、ウエストナイル熱の侵入対策として、死亡カラスについての情報を集めています。カラスの死体を発見した際には、最寄りの保健所まで情報の提供をお願いします。

関連ページ●保健衛生課“ウエストナイル熱に注意しましょう” <http://www5.pref.aomori.lg.jp/hoken/23839/cpub.html>